

授業科目名	体育スポーツ実践的研究方法論	
科目番号	02JD101	
単位数	1.0単位	
標準履修年次	1年次	
時間割	筑波:春ABC 鹿屋:前期、月1回土曜4.5限、集中	
担当教員	高橋 仁大,山本 正嘉,金高 宏文,前田 明	
授業概要	スポーツの実践現場へ貢献するための実践的研究の方法論について概説する. 特に大学体育および大学スポーツを対象に, その実践の現場で起こる様々な事象について, 直接的に寄与する知見(実践の知)を得るための研究方法論について学ぶ.	
備考	鹿屋体育大学開講(遠隔授業)	
授業形態	講義	
学習目標	大学体育および大学スポーツを対象に, その実践の現場で起こる様々な事象について, 直接的に寄与する知見(実践の知)を得るための研究方法論について理解し, 実践的研究を推進することができる.	
授業計画	1. 実践的研究の意義	山本
	2. 大学体育・スポーツにおける実践を意識した研究のあり方	山本
	3. 体育・スポーツ実践における経験知(実践知)を記述・分析する方法論	高橋
	4. 実践知を客観的に記述・検証する方法論1 ゲーム・戦術を記述・検証する	高橋
	5. 実践知を客観的に記述・検証する方法論2 動きを記述・検証する	金高
	6. 実践知を客観的に記述・検証する方法論3 コーチングおよびチームマネジメントを記述・検証する	金高
	7. 実践知を客観的に記述・検証する方法論4 コンディショニングを記述・検証する	前田
	8. 実践的研究を進めるための研究計画と研究倫理	前田
履修条件		
評価方法	各回の授業レポート, 最終レポートから総合的に評価する.	
教科書	『体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方』福永・山本編著 市村出版(2018)	
参考書	『Routledge Handbook of Sports Performance Analysis』 Tim McGarry, Peter O'Donoghue, Jaime Sampaio Routledge 2015 随時資料を配布する	
オフィスアワー	随時だが, 事前にアポイントを取ることが望ましい 高橋(研究棟8階809教員研究室)、 山本(スポーツレーニング教育研究センター2階センター長室) 金高(大学院棟3階4教員室) 前田(スポーツパフォーマンス研究センター長室)	